

第19回供用適性評価規格委員会

議事録

1. 日時：平成27年7月29日（水） 10:00～12:00
2. 場所：高圧ガス保安協会 第3, 4会議室（東京都港区虎ノ門4-3-13）
3. 出席者（敬称略・順不同）：
委員：鴻巣（委員長）、小川（副委員長）、荒井、小藤、渡辺、石丸、永井、佐藤
島川、平柳
以上10名
供用適性評価規格委員会事務局WG：村瀬（JX日鉱日石）、鶴澤（コスモ石油）、渡邊
（三菱化学）、日野（三井化学）
オブザーバー：三田（石油化学工業協会）
KHK：安田、國友、閑念、長沼、安孫子、小山田、磯村、名倉
4. 配布資料：
資料122 前回議事録（案）
資料123-1 技術基準策定手順書の改正及びワーキンググループの設置について
-2 技術基準策定手順書改正（案）
資料124 技術基準整備3カ年計画（案）
資料125 高圧ガス設備の供用適性評価に基づく耐圧性能及び強度に係る
次回検査時期設定基準（KHK/PAJ/JPCA S0851）の改正について
資料126 高圧ガス設備の供用適性評価に基づく耐圧性能及び強度に係る
次回検査時期設定基準（KHK/PAJ/JPCA S0851）の高度化に関する
今後の予定について
資料127 国内外の供用適性評価に関する動向について
5. 参考資料：
 - ① 供用適性評価委員会委員名簿
 - ② 昨年度作成の技術基準整備3カ年計画（平成26～28年度）
 - ③ 平成25年度経済産業省委託 石油精製業保安対策事業 高圧
ガス設備に係る補修後の強度基準等に関する調査研究（抜粋）
 - ④ 平成25年度経済産業省委託 石油精製業保安対策事業 既設

高圧ガス設備の耐震性能評価基準に関する調査研究（抜粋）

- ⑤ 【PVP2015-45538】 Procedure for Plastic Collapse Assessment of a Local Thin Area near Vessel and Nozzle Intersections Subjected to Internal Pressure and External Loadings
- ⑥ 【PVP2015-45512】 VALIDITY OF PROCEDURE FOR PLASTIC COLLAPSE ASSESSMENT OF A LOCAL THIN AREA NEAR VESSEL AND NOZZLE INTERSECTIONS SUBJECTED TO INTERNAL PRESSURE AND EXTERNAL LOADINGS
- ⑦ 供用適性評価に基づく次回検査時期設定基準（KHK/PAJ/JPCA S 0851）その概要と運用について

6. 議事

6. 1 議題の確認及び交代委員の紹介

事務局より、配布された議事次第により議題の確認及び交代のあった委員について紹介を行った。

6. 2 議題1) 委員長の互選、副委員長の指名

事務局から、委員長の互選に関して説明があった後、鴻巣委員が委員長として互選された。続いて、鴻巣委員長により、小川委員が副委員長に指名された。

6. 3 議題2) 前回議事録の確認

事務局より議事録案について、各委員にEメールにて事前送付したものと変更はない旨の説明があり、資料122を正式な議事録とすることについて挙手による採決を行った。満場一致で可決された。

6. 4 議題3) 技術基準策定手順書の改正及びワーキンググループの設置について

【審議】

事務局より、資料123-1及び資料123-2に基づき、技術基準策定手順書の改正及びワーキンググループの設置について説明があった後、以下の議論等があった。

- ・ワーキングの設置については、従来事務局WGにおいて基準原案の作成などを行っていたが、正式なワーキンググループを設置し、今後の基準改正作業などを行っていきたい。
- ・また、現行規定上、ワーキンググループには規格委員会のメンバーを1名以上含むこととなっているが、これまでの事務局WGメンバーでの検討についても、運営上支障がないため、規格委員会のメンバーを含めなくてもよい規定として技術基準作成手順

書の改正を行いたい。

以上の後、技術手順書の改正及びワーキンググループの設置及び当該ワーキンググループメンバーに規格委員会委員を含まないことについて、挙手による採決を行った。満場一致で可決された。

6. 5 議題4) 技術基準整備3カ年計画の承認について【審議】

事務局より資料124及び参考資料②に基づき、本規格委員会の技術基準整備3カ年計画案について、説明があった。

特段の意見はなく、資料124を正式な本規格委員会の技術基準整備3カ年計画とすることについて挙手による採決を行った。満場一致で可決された。

6. 6 議題5) 高圧ガス設備の供用適性評価に基づく耐圧性能及び強度に係る次回検査時期設定基準(KHK/PAJ/JPCA S0851)の改正と認定内規の改正について【報告】

事務局より、資料125に基づき、KHK/PAJ/JPCA S0851)の改正と認定内規の改正について説明があった後、以下の議論等がなされた。

- ・当該規格の最新版(2014年版)の認定内規の引用はいつごろ予定されているのか。
→当該規格の最新版(2014年版)の認定内規の引用については、METIと調整済みであり、最新版の引用について近いうちに認定内規の改正が行われる予定と聞いている。
また、認定内規改正後、当該規格を印刷物として発刊する予定としている。

6. 7 議題6) 今後の予定について

事務局より、資料126及び参考資料③、④に基づき、当該規格の高度化に向けた今後の予定について説明があった後、以下の議論等がなされた。

- ・耐圧試験の要否等に関する評価基準の取り入れについて、対象が一般炭素鋼等となっているが、それ以外の鋼種はあるのか。
→METI委託事業の中で、オーステナイト系ステンレス鋼についても耐圧試験の要否等に関する評価基準についても検討が行われており、取り込みの対象鋼種と考えている。
また、高張力鋼の耐圧試験の要否等に関する評価基準については検討すべき課題があると考えている。
- ・当該規格の高度化という観点から、クリープ破壊などの評価についても検討してはどうか。

6. 8 議題7) 国内外の供用適性評価規格に関する動向について【報告】

事務局より、資料127及び参考資料⑤、⑥に基づき、国内外の供用適性評価規格に関

する動向について説明があった後、以下の議論等がなされた。

- ・ API579-1/ASME FFS-1 の改正内容はどのようなものがあるのか。

→API579-1/ASME FFS-1 については、API RP579 をベースに API/ASME の共同規格となったものであり、その際に評価対象となるきず又は損傷の種類が増えているが、減肉評価の基本的な考え方については変更されていない。

→また、英国の供用適性評価規格である BS7910 については、FitNet の成果を取り入れる形で、2013 年に改正されている。

7. その他

- ・ 次回の委員会の開催については、後日程調整して決定することとした。

以上